

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

恵那市青少年育成市民会議

■総会・少年の主張大会（6月15日）

総会記念行事として恵那市少年の主張大会を開催。市内の中学生9人が堂々とした発表を披露した。少年の主張大会の記録集『立志の春』を3月に発行。新中学3年生が、令和7年度少年の主張大会に応募する際の教材となるように配布する。

■少年（補導）センター指導員研修会（7月10日）

岐阜県警察本部生活安全部少年課少年育成支援官の田中聡さんにお越しいただき、「子どもたちと関わる現場から」と題した講演をしていただいた。管内の青少年の非行・被害の現状やインターネットトラブルの恐ろしさを話していただき、出席した少年センター指導員たちは感銘を受けたようで、深くうなずいたり、メモを取ったりしながら聞き入っていた。大変有意義な研修会となった。



■見守りパトロール（9月21日）

恵那駅周辺で開催された2024ENAみのりのみのり祭に合わせ、少年（補導）センター指導員が見守りパトロールを実施。午後7時半から約1時間かけて夜間の街中を巡回し、見掛けた青少年に声掛けを行った。防犯意識の醸成につながった。

■秋のこどもまんなか月間 街頭啓発活動（11月9日）

市内の大型スーパーマーケットなどの出入口を借り啓発活動を開催。参加者は、少年（補導）センター指導員である恵那保護区保護司会や学校教諭、PTA役員、有志の市内高校生ボランティアなど計34人。月間の趣旨をPRしながら、青少年支援の啓発チラシが入ったエコバッグを配布。



■自治会青少年育成推進員研修会（10月29日）

97人が参加。第一部は、地域の実践発表が行われ、東野青少年育成会議と明智町青少年育成町民会議が、それぞれ地域の特色を生かした青少年育成の取り組みを発表した。

第二部では、講師を招き講演会を開催。今年度は、講談師で恵那観光大使でもある神田昌味さんを招いた。「太閤記 秀吉と曾呂利 柿のご意見」という話を披露いただいた他、講師自身の子育て体験、子育てに対する持論、近所や地域コミュニティ、周りとの関わり方について話していただいた。講談師ならではの魅力的な話術に引き込まれる時間だった。人間として、親として、命の大切さや地域のつながりの重要性を学ぶことができた。

■広報紙『ゆう‘sねっとENA』の発行

7月、10月、3月に発行。青少年育成市民会議の活動紹介、インターネットトラブルや薬物トラブルの注意喚起、相談窓口の紹介など、青少年やその保護者の興味を引く内容を掲載。市内全域に回覧した他、市内全小中学校に配布し周知した。